



東風

〇月〇日

教育目標

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【めざす子ども像】

豊かな心で自ら学びたくましく生き抜く子

令和元年7月26日発行 第5号



ふれあい (=ふれ愛) 多き夏休みに

岩内東小学校長 齊藤 信之

気持ちのよい青空が広がる朝には、子どもたちの笑顔もひとときわ輝きます。「おはようございます」の一言に気持ちを通い合わせるひとときは、子どもたちと元気とやる気を響かせ合う朝の大切な時間です。

泣いたり笑ったり、時には友達とぶつかり合ったりもしながら、成長の階段を上り続けてきた一学期が今日で終わりました。小さな成功体験を積み重ね、自分や友だちのよさに気付きながら自己有用感を高めようと努めてきた73日間でした。本日持ち帰った通知表には、子どもたち一人一人の頑張りの足跡が記されています。A・B・Cの評価に目が行きがちですが、通信欄に記された頑張りや活躍ぶりをお読みいただき、新しい自分を創り出そうと努力してきたことを大いに認めてあげてほしいと思います。認めてもらったその喜びは、きっと夏休みや2学期の前向きなエネルギーとなっていくに違いありません。

子どもたちにとっては胸躍る夏休みの到来でしょうが、子どもの安全・安心にいつもの注意が必要な時でもあります。改めて約束事を確かめ、安全で楽しく有意義な夏休みとなるようご家庭でのご協力をお願いいたします。

宣教師として来日し、生涯を教育と福音宣教に捧げたステファノ・デランジェラさんというイタリアの神父さんが残した「手のぬくもり」という著書の一部を紹介します。

子どもたちの手をしっかりと握ってください。

子どもは、成長して大人になって皆さんから離れるときがやって来ます。

けれども、彼らの心の中に、幼稚園に通っていたとき、夏休みの間、一緒に山道や海辺を散歩したとき、買い物に行ったとき…。

お母さんの手のぬくもり、お父さんの手のぬくもりが、すうっとしみ込んでいき、それが思い出となるようにしてください。そのぬくもりは、きっと子どもを守り、正しい道を踏み外すことのないようにしてくれることでしょう。

自分が大切にされたという実感が、子どもを強く正しく育てます。子どもたちにとって、多くのふれあいに恵まれる夏休みとなることを願っています。

様々に快くご協力をいただいた保護者の皆さん、読み聞かせや読書環境の整備にご尽力いただいた図書ボランティアの皆さん、登校時の子どもたちを見守っていただいた交通安全指導員の皆さんをはじめ、給食調理員さんや公務補さんなど、多くの皆さんに支えていただいたおかげで、こうして一学期を終えることができました。学校にお寄せいただいたたくさんのご支援やご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。